

2022年5月17日(火)
財務金融委員会質問要旨

『 一 般 質 疑 』

立憲民主党 福 田 昭 夫

はじめに

1. 現下の急激な円安、ドル高、物価高への対応について

(1) 日銀は、4月の政策決定会合で金融緩和維持を決め、円安是正より金融緩和を優先し、金利を抑え込む「指値オペ」を毎営業日実施するとしたが、その影響をどのように考えているのか。

(雨宮日本銀行副総裁)

(2) 財務大臣は「急激の変動は好ましくない」と言っているが、何故好ましくないのか。

(鈴木財務大臣)

(3) 国際通貨基金(IMF)の高官は、「最近の円安は基礎的条件主導であり、経済政策を変更する理由にはならない」と、今の相場は分相応と言っているが、鈴木財務大臣も日銀もそう思うのか。

(鈴木大臣・雨宮副総裁)

(4) 実質実効為替レートは、1970年代の水準に逆戻り。また、今の円安が資源価格の高騰を加速しているというが、鈴木財務大臣も日銀もそう思うか。

(鈴木大臣・雨宮副総裁)

(5) 黒田日銀総裁の任期は、来年の4月までだが、任期中、金融緩和政策を改める考えはないのか。

(雨宮副総裁)

(6) 黒田総裁が、「全体として円安がプラスという評価を変えていない」とすると、政府の物価対策6.2兆円と矛盾するのではないのか。

(鈴木大臣)

(7) 鈴木財務大臣は、4月21日、米国のイエレン財務長官と「為替安定へ意思疎通確認」をしてきたというが、何を話してきたのか。

(鈴木大臣)

(8) 外貨準備金の現在高と活用方法について。

(鈴木大臣)

(9) 米国FRBの更なる利上げによる円安、ドル高、物価高への対応について。

(鈴木大臣)

2. 新型コロナ、原油高、原材料高を踏まえた財政健全化計画の策定について

(1) 2022年3月末の国債及び借入金現在高は、1,241兆3,074億円、過去最大を更新したが、政府はこの借金を返す考えはあるのか。

(鈴木大臣)

(2) 5月9日安倍元総理が大分市の講演での、「日銀は政府の子会社だ」発言について。(鈴木大臣)

(3) 過去最大の借入金残高、1,241兆円を超えるこの借金は、政府の借金で、国民の借金ではないのではなのか。(鈴木大臣)

(4) 財政健全化の目標が、単年度ごとのプライマリーバランスの黒字化でいいのか。(鈴木大臣)

(5) 政府の借金が増えた大きな原因は何か。三つの図表を見て、考えを聞かせてください。(鈴木大臣)

①一般会計税収、歳出総額及び公債発行額の推移・・・・・・・・図表1

②私たち日本の不幸な失われた30年の歴史・・・・・・・・図表2

③財政悪化と格差拡大を招いた、法人税、所得税、住民税の引き下げの実態・・・・・・・・図表3

(6) 2021年度の税収が、過去最高のペースで推移しているというが、基幹3税の弾性値をどう考えているのか。(主税局長)

(7) プライマリーバランスの黒字化ではない、財政健全化計画をつくる考えはありますか。(鈴木大臣)

おわりに

要求大臣：鈴木財務大臣

政府参考人：財務省主税局長 日本銀行両宮副総裁